

報告事項才

特別支援学校技能検定について

特別支援学校技能検定について、別紙のとおり報告します。

平成26年9月5日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

## 特別支援学校技能検定について

平成26年9月5日

特別支援教育課

- 1 目的 ○特別支援学校に在籍する生徒が身に付けた知識、技能、態度等を検定で発揮し認定されることにより、「働く力」「働く意欲」等の一層の向上を図る。  
○特別支援学校の生徒の職業に関わる技術や取組姿勢を一定の基準により評価し認定することで、企業の雇用促進につなげる。
- 2 主催 鳥取県教育委員会
- 3 協力 一般社団法人鳥取県ビルメンテナンス協会（予定）  
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
鳥取高齢・障害者雇用支援センター（予定）
- 4 実施期日 平成26年12月16日（火）
- 5 会場 県立琴の浦高等特別支援学校  
689-2501 鳥取県東伯郡琴浦町赤碕1957-1
- 6 参加者 県内特別支援学校高等部生徒
- 7 実施内容 清掃部門

### 8 実施種目

#### (1) マスター検定（床及び机上清掃） 制限時間15分

机、イス、ゴミ箱が置いてある、幅木で仕切られた4m四方のコート内を部屋に見立てて、次の手順で清掃する。

- ①イス・ゴミ箱上げ（机上に上げる）
- ②ダスタークロスによる除塵とゴミ取り
- ③水拭き用モップによる水拭き
- ④イス・ゴミ箱下ろし
- ⑤水拭きタオルと乾拭きタオルによる机上清掃
- ⑥点検

基礎的な用具操作だけでなく、総合的な清掃技能が求められる。

#### (2) チャレンジ検定（床清掃） 制限時間15分

机、イス、ゴミ箱のない、平たんな床のみのコートを使用し、次の手順で清掃する。

- ①ダスタークロスによる除塵とゴミ取り
- ②水拭き用モップによる水拭き
- ③点検

ダスタークロスやモップを使う基礎的な技能が求められる。

## 9 評価基準及び級の認定

鳥取県特別支援学校技能検定実施委員会で定める。(別紙)

実施委員	照下 徳昭 (鳥取県ビルメンテナンス協会)
	峯 恭彦 (鳥取高齢・障害者雇用支援センター)
	絹見 睦美 (白兔養護学校)
	安藤 嘉洋 (倉吉養護学校)
	倉光 千秋 (米子養護学校)
	小谷 郁夫 (琴の浦高等特別支援学校)

## 10 今後のスケジュール

9月	中旬	検定用具導入 (各校)	
		指導用手引・DVD各校配布	
10月	中旬	検定参加者募集開始	各校校内予選を適宜実施
11月	中旬	参加者締切り	
12月	16日	技能検定実施	

## 11 参加予定数

30～40名程度の参加を想定。(知的各校5～10名、琴の浦15～30名)

## 12 その他

平成27年度は清掃部門の検定内容を拡充予定 (窓清掃及び絨毯清掃)  
平成28年度は喫茶サービス部門を新設予定

平成26年度鳥取県特別支援学校技能検定 [ 清掃部門 マスター検定 ] 採点表(案)

ゼッケン NO	競技者名

審査員名

【 服装・作業準備 】

1	帽子、作業服(体操服)、シューズを着用している	5	4	3	2	1
2	作業カートは作業のしやすい場所に移動されている	5	4	3	2	1
3	作業表示板は適切な位置に立てられている	5	4	3	2	1

【 椅子上げ・ゴミ処理とゴミ箱上げ 】

4	椅子は安全に適正な位置に挙げられている	5	4	3	2	1
5	ゴミ袋を処理し、新しいゴミ袋が正しくセットされている	5	4	3	2	1
6	ゴミ箱が適切な位置に上げられている	5	4	3	2	1

【 除塵作業 】

7	乾式モップの着脱は適切かつスムーズである	5	4	3	2	1
8	モップ柄を正しく持ち作業を行っている	5	4	3	2	1
9	ゴミを踏まず、スムーズにモップ操作を行っている	5	4	3	2	1
10	ゴミの除去方法、手順に無理、無駄がない	5	4	3	2	1
11	幅木(壁)や机の脚部にモップが触れていない	5	4	3	2	1
12	ゴミの取り残しがない	5	4	3	2	1
13	適切な位置でダストクロスを外し、適切に処理している	5	4	3	2	1
14	ヘッド、モップ柄がカートの定位置に収められている	5	4	3	2	1
15	小ほうき、チリ取りを適切に使用し取り残しがない	5	4	3	2	1
16	除塵作業後の指差し確認が適切に行われている	5	4	3	2	1

【 水拭き作業 】

17	ラーグ(モップ房)の着脱は適切かつスムーズである	5	4	3	2	1
18	モップ柄を正しく持ち作業を行っている	5	4	3	2	1
19	四隅(コーナー)、机の脚部は手添えで拭き上げている	5	4	3	2	1
20	拭き上げ方法、手順に無理、無駄がない	5	4	3	2	1
21	幅木(壁)や机の脚部にラーグ(モップ房)が触れていない	5	4	3	2	1
22	ラーグ(モップ房)の両面を使用し、適切に拭き上げている	5	4	3	2	1
23	拭き残し、拭きムラ無く拭き上げている	5	4	3	2	1
24	無理のない姿勢で動作もスムーズに拭き上げている	5	4	3	2	1
25	ラーグ、モップ柄がカートの定位置に収められている	5	4	3	2	1

【 椅子・ゴミ箱下ろし 】

26	椅子とゴミ箱を所定の位置に戻している	5	4	3	2	1
----	--------------------	---	---	---	---	---

【 机上拭き作業 】

27	四辺の拭き上げ後、2種類の技法(縦・横)で拭き上げている	5	4	3	2	1
28	各行程ごとに折り返し新しい面で拭き上げている	5	4	3	2	1
29	2種類の技法とも拭き残し、拭きムラなく拭き上げている	5	4	3	2	1

【 点検作業 】

30	指差し確認によりゴミの有無、椅子及びゴミ箱の最終調整	5	4	3	2	1
----	----------------------------	---	---	---	---	---

【 後片付け 】

31	作業表示板を作業カートに戻す	5	4	3	2	1
32	作業カートを所定の場所に戻す	5	4	3	2	1

【 作業態度 】

33	最初と最後の入退室時の挨拶は適切である	5	4	3	2	1
34	作業中の入退出時の挨拶は適切である	5	4	3	2	1

① 実技 評価点 (170点満点)

小計 :            点

【 総合評価 】

35	作業中の机の移動等(接触、机上拭き時)	5	4	3	2	1					
36	机上のごみ箱の落下、椅子の閉じ、落下	5	4	3	2	1					
37	作業全般の 動作・節度・リズム感	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

【 作業時間評価 】

38	[作業時間 :            分            秒]	10	7	4	1	0:タイムオーバー
----	------------------------------------	----	---	---	---	-----------

② 総合評価・作業時間 評価点 (30点満点)

小計 :            点

③ 総合得点 ( ① + ② ) …… 200点満点

合計 :            点

## 級の認定について

マスター検定、チャレンジ検定とも、評価基準に照らして3名の審査員が採点し、1級から10級を認定する。審査員は鳥取県ビルメンテナンス協会が推薦する者とする。

### 【マスター検定】

	マスター検定	認定者のイメージ
1級	200 ～ 186	国家検定（ビルクリーニング技能士）のダスタークロス、水拭きモップ合格レベル
2級	185 ～ 171	企業で充分力を発揮できるレベル
3級	170 ～ 156	
4級	155 ～ 141	補助があれば一通り作業ができるレベル
5級	140 ～ 126	
6級	125 ～ 111	清掃の流れにそって、用具を操作する基礎が身につき始めているレベル
7級	110 ～ 91	
8級	90 ～ 71	適切な用具操作に慣れてきたレベル
9級	70 ～ 51	
10級	50 ～	

### 【チャレンジ検定】

	チャレンジ検定	認定者のイメージ
1級	150 ～ 131	補助があれば一通り作業ができるレベル
2級	130 ～ 111	清掃の流れに応じて、用具を操作する基礎が身につき始めているレベル
3級	110 ～ 91	
4級	90 ～ 71	適切な用具操作に慣れてきたレベル
5級	70 ～ 61	
6級	60 ～ 51	
7級	50 ～ 41	用具の使い方がわかり、清掃方法がわかってきたレベル
8級	40 ～ 31	
9級	30 ～ 21	
10級	20 ～	